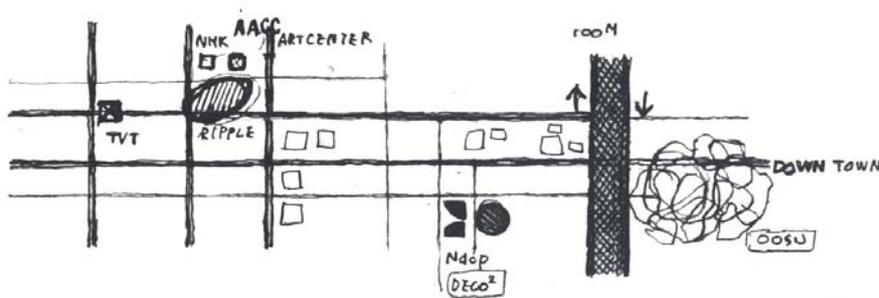


2006年 名古屋工業大学 建築設計製図Ⅲ（3年後期）前半課題  
出題 今井裕夫

課題 **SQUARE** 又は 境内空間

栄（オアシス 21）付近から PARCO、ナディアパークを経て大須までの人の流れや街のにぎわいが成立している昨今の名古屋の都心の事情の中で、ナディアパーク南側の矢場公園をなんとかしたい。



□課題

- ・栄と大須のにぎわいの中継地としての何もない空間、広場的な場所をイメージしているが、下記の条件を充たす以外は自由な提案でよい。
- ・例えば境内のような機能を持つこと。それを陰ながら支える機能を持つこと。
- ・地下1F 地上2～3F程度の全体のボリュームが低層な施設であること。
- ・ナディアパークの機能や建築と関係するか、意識したものであること。現状は地下駐車場を含めて無視してよい。（地下は将来も収納能力の高い駐車場と想定している）
- ・名古屋的野暮又は情緒を空間に対する AFFINTY の純度を高めた上で、作品に投影すること。
- ・現地取材からの発想であること。
- ・文献参考 Michael Ende (ミハエル・エンデ) 「モモ」 岩波書店

□提出物

- ・コンセプトドローイング 各自 [プラン・セクション・イメージ 構想のためのドローイング・スケッチ A3 2枚以上]
- ・全体模型 1/100 全員 [周辺はボリューム模型]
- ・模型 1/100 各自 [素材は自由]
- ・図面 1/100 各自 [設計主旨・各階平面図(配置を兼ねてもよい)・断面図・立面図等 A1 3枚程度に模型写真、ドローイングなどをレイアウトして図面を完成させる]

※コンセプトドローイングはハンドによる。表現は自由。 中間チェック時 (10/16・30) に絶対必要・評価の主要点とする。